

ダンゴムシと遊ぼう

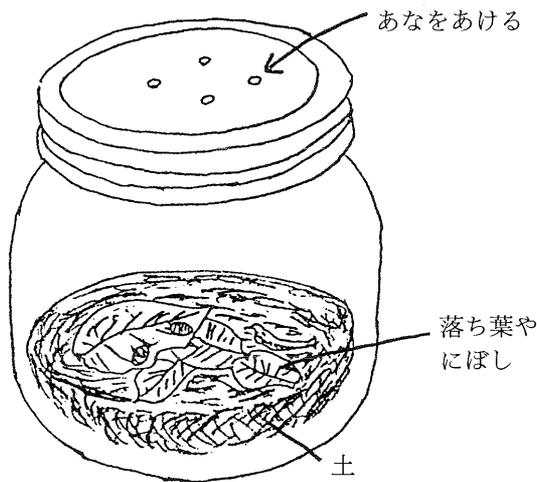
庭のすみの落ち葉の下にいて、つまむと丸くなるかわいいダンゴムシの行動について調べてみましょう。

ダンゴムシはいろいろなものを食べますが、それでも好き嫌いがあります。何を食べ、何を食べないかは、飼育をするとわかります。また、迷路を作って、その中にダンゴムシを放してみましよう。ダンゴムシの意外な歩き方のくせがわかります。

1 ダンゴムシを飼育しよう

ダンゴムシは空き瓶や飼育ケースに土を入れ、くさりかけた湿っている落ち葉や煮干しなどを入れておけば飼育できます。注意することは、乾かないように時々霧吹きで湿らせたり、観察をやめるときはすぐにつかまえた場所にかえしてあげましよう。

図1



必要な物

- ・飼育用の空き瓶や飼育ケース
- ・タッパー容器
- ・木片12個 (3×5 cmで厚さ1 cm程度)
- ・記録用紙 (B5判)
- ・色鉛筆
- ・両面テープ

2 ダンゴムシの好き嫌いを調べよう

タッパー容器に湿らせた紙をしき、その中にダンゴムシと食べるかどうかを確かめたいものを入れてみます。

一日後に、食べた後やフンの様子で食べたかどうかを判断します。ダンゴムシは落ち葉を食べて分解してくれます。いろいろな落ち葉を食べますが、どうしても食べない葉もあります。それはどんなものか調べてみましょう。

図2



3 ダンゴムシの歩き方のくせを調べてみよう

(1) 記録用紙の上に木片を適当に並べ、迷路を作ります。ダンゴムシにとっては木片は大きな建物で、木片の間が迷路になります。木片は両面テープで動かないように止め、木片の周りを鉛筆でなぞり、迷路の形も記録します。

(2) ダンゴムシをスタート位置から歩かせ、記録用紙から出るまで歩いた後を色鉛筆でなぞります。

(3) (2)を何回も繰り返し、歩いたルートの色鉛筆の色を変えて記録します。

(4) 歩き方に特徴がないか考えてみよう。

(5) 木片を図3のように規則的に並べた迷路にすると、歩き方の特徴が分かりやすくなります。

図3

